

昨年10月、11月に霧島市議会へ議会改革の調査目的で9市議会の方々がお見えになりました。このうち霧島市議会の改革について、4市議会の方にインタビューさせていただいた内容を紹介します。ご協力くださいました視察団の皆様、ありがとうございました。

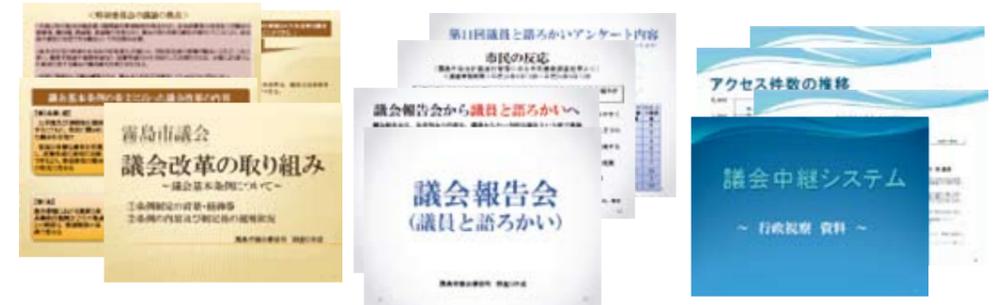
**早稲田大学
マニフェスト研究所**

28位

日経グローバル誌

52位

地方分権改革が推し進められる中、地方議会は、二元代表制の一翼を担う議会の改革を自主的に推し進めています。その地方議会の議会改革度のランキングを「日本経済新聞社 産業地域研究所」と「早稲田大学マニフェスト研究所」が、アンケートを実施し、結果を公表しました。



2014年6月16日 (No.246) 発行

日経グローバル誌「議会改革度ランキング」

このランキングは、2014年4月から5月にかけて、全国813市区(790市・23区)議会を対象に、日経リサーチを通じてアンケートが実施され、「議会の情報公開」「議会への住民参加」「議会の運営方法」などについて実績を聞き、その回答を数値化してランキングされています。

<ランキングの分析>
 ランキング評価の内訳は、総合得点が46.6点で52位のランキングとなりました。
 議会運営改善度については全国で11位の評価を得ていますが、住民参加度や公開度の評価は、改革を行うものの、上位に及ばないことから、今後も議員と語り合いの開催を継続し、ユーチューブを活用した一般質問録画配信や、議会だよりへの二次元コード掲載のほか、「市民へ開かれた議会」を目指し、新たな取り組みを進める必要があります。

- ◇全国市区議会ランキング
霧島市議会：総合順位52位
※九州圏内で7位、鹿児島県内で1位

2014年6月3日ホームページで公開

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査2013ランキング」

このランキングは、2014年1月に全国の1,789議会へ調査依頼し、回答のあった1,444議会を基にランキングされています。各設問は「情報公開」「住民参加」「議会機能強化」のいずれかの分野に分類し、その分野ごとに点数が算出されています。

<ランキングの分析>
 ランキング評価の内訳は、個別順位で情報公開が92位、住民参加が23位、機能強化が41位といずれも上位に位置しています。しかしながら、情報公開は住民参加や機能強化より大きく順位を下げていることから今後一層、議員と語り合いの内容の充実を図ってまいります。

- ◇全国都道府県市区町村議会ランキング
霧島市議会：総合順位28位
※九州圏内で3位、鹿児島県内で1位

霧島市議会改革の内容は、19ページの「議会のなぜ・何にお答えします」をご参照ください。



茨城県高萩市議会 (議会運営委員会)

視察事項：議会運営及び議会改革の取り組み
 <コメント> 議会運営委員長 矢代 洋三氏
 議会報告会の回数が多く、市民になじんでいる印象を受けました。また、一般質問者も多く、わがまちを思う気持ちが伝わりました。



長崎県佐世保市議会 (議会運営委員会)

視察事項：議会改革の取り組み (タブレット端末の活用等)
 <コメント> 議会運営委員長 大村 哲史氏
 九州の中でも霧島市議会のシステム構築は進んでいると感じました。また、市民の皆様の意見を吸収しようとする姿勢が伝わりました。



兵庫県三木市議会 (議会運営委員会)

視察事項：議会運営、議会改革、議員と語り合い
 <コメント> 議会運営委員長 大眉 均氏
 議員と語り合いをどの地域でも年4回開催していることや、広報広聴の機会を自ら作る活動、議決事件の拡大など大変参考となりました。



佐賀県唐津市議会 (議会運営委員会)

視察事項：議会基本条例について
 <コメント> 議会運営委員長 青木 茂氏
 現在、議会内部の改革や市民への透明性を高めることを模索しており、議会基本条例の条例化の必要性など参考となりました。



<コメント> 議会運営委員 松原 久美子氏
 先端をいく広報広聴の活動を今後も期待しています。市民の皆さんもぜひ議会をご覧ください。



インタビューの詳細は、上記二次元コードをスマートフォン・タブレットから読み取ることで動画が視聴できます。